

漁海況月報

平成24年 3月 1日

No. 3

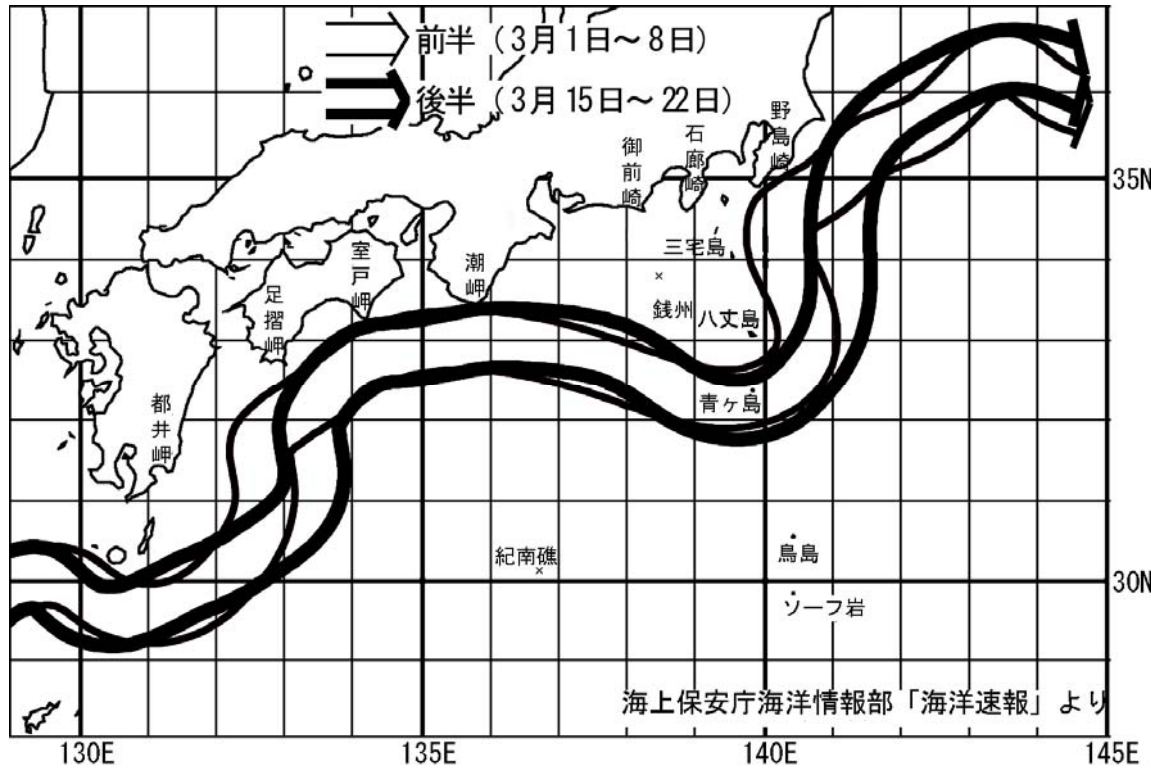
～3月31日

静岡県水産技術研究所

(電話 054-627-1815)

静岡県水産術研究所 伊豆分場

(電話 0558-22-0835)



【黒潮流路】

前半の黒潮は、室戸岬～潮岬で接岸した後、遠州灘沖から伊豆諸島付近で蛇行し八丈島の南を通過した。その後、伊豆諸島の東側を北上して房総半島沖へ接岸した。後半の黒潮は、都井岬で離岸、室戸岬～潮岬で離岸した後、前半と同様に蛇行して八丈島の南を通過した。その後、伊豆諸島の前半よりも東側を北上し、房総半島沖へ流去した。

【県下沿岸域】

県下の定地水温は、概ね平年よりも高めで推移し、地頭方を除いて 14～16℃台であった。前半に黒潮の北上部から暖水波及が見られた。

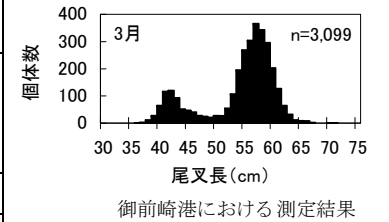
【竿釣カツオ】

県内主要5港（沼津、清水、焼津、小川、御前崎）における近海竿釣り船によるカツオの水揚量は 179 トンで前年同期の 61%であった。魚価は 549 円/kg で、前年同期を上回った。沿岸竿釣り船は水揚げがなかった。

近海竿釣り船は、小笠原諸島周辺で中・大（尾叉長 57cm モード）、極小・小（尾叉長 42cm モード）カツオを漁獲した。

竿釣りカツオ水揚量（近海、県内主要5港）

期間	水揚量 (トン)	水揚 隻数	水揚/隻 (トン)	平均単価 (円/kg)
24年 3月上旬	14	3	4.7	601
24年 3月中旬	60	5	12.0	458
24年 3月下旬	105	10	10.5	595
24年 3月計	179	18	9.9	549
23年 3月計	294	32	9.2	431
22年 3月計	218	19	11.5	441



定地水温の旬平均値 (°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	14.0	15.4	15.3	16.3	15.1	14.7	13.5
	0.5	1.3	1.6	1.9	0.9	1.2	1.7
中旬	14.7	16.6	16.0	15.4	15.3	16.2	13.0
	0.9	2.3	2.1	0.7	0.5	2.3	0.6
下旬	15.2	15.7	15.7	14.5	14.8	15.8	13.1
	1.1	1.2	1.4	-0.8	-0.4	1.4	0.0
月	14.7	15.9	15.6	15.4	15.1	15.6	13.2
	0.8	1.6	1.7	0.6	0.3	1.7	0.7

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は 465 トンで、前年の同漁場の水揚量 (401 トン) の 1.2 倍となった。また、1か統あたりの水揚量は 66.4 トンで前年 (57.4 トン) の 1.2 倍、平年 (昭和 57～平成 23 年の平均 46.1 トン) の 1.4 倍となった。

魚種別の漁獲量をみるとブリ、カタクチイワシ、サバ類の順に多かった。

ブリでは尾叉長で 75～84 cm の大きさのものが 140 トン (19,446 本) 漁獲され、うち、6 割が北川漁場で漁獲された。

カタクチイワシは被鱗体長で 10～14 cm の大きさのものが古網、伊豆山漁場を中心に漁獲された。また、サバ類は尾叉長で 30～35 cm のゴマサバを主体として川奈、富戸漁場を中心に漁獲された。

漁場別の漁獲量では、北川漁場が 128 トン (ブリ、カタクチイワシ、スルメイカなど)、川奈漁場が 101 トン (サバ類、ブリ、ワラサなど)、古網漁場が 99 トン (カタクチイワシ、マイワシ、ブリなど) の順に多かった。

魚種	漁獲量 (トン)	前年比	平年比	主な漁場
ブリ	140.5	2.8	7.2	北川、川奈、富戸
カタクチイワシ	107.7	0.7	1.4	古網、伊豆山、北川
サバ類	103.2	1.3	3.8	川奈、富戸、赤沢
マイワシ	18.6	8.2	0.4	古網、川奈、伊豆山
ワラサ	12.9	1.2	3.4	川奈、伊豆山、富戸

[サバたもすくい棒受網]

小川港には、たもすくい・棒受網によってマサバ154トン(前年同月比53%)、ゴマサバ217トン(前年同月比443%)が水揚げされた。1隻あたり水揚量は、マサバ9.6トン/隻(前年同月比109%)、ゴマサバ13.6トン/隻(前年同月比907%)であった。平均単価は、マサバが271円/kgで前年同月(225円)を上回った。ゴマサバは54円/kgで前月(46円)を上回ったが、前年同月(58円)を下回った。

たもすくいの漁場は、上旬はひょうたん瀬、中旬は銭洲に形成されたが、水温の低下に伴い漁況は低下した。棒受網の漁場は、上旬及び下旬に、ゴマサバ主体で三本、三宅に形成された。

マサバは尾叉長34cmモードの3歳魚(2009年級群)主体、ゴマサバも30cmモードの3歳魚(2009年級群)主体であった。

小川港 サバ類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量(トン)		水揚 日数	水揚 隻数	水揚/隻(トン)		単価(円/kg)		漁 場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
24年3月上旬	107	179	4	10	10.7	17.9	305	56	ひょうたん瀬 銭洲
中旬	39	0	2	4	9.7	0.0	223	52	ひょうたん瀬
下旬	8	38	1	2	4.4	19.0	65	46	銭洲
24年3月計	154	217	7	16	9.6	13.6	271	54	—
23年3月	291	49	9	33	8.8	1.5	225	58	ひょうたん瀬 銭洲
22年3月	109	388	10	33	3.3	11.8	260	79	ひょうたん瀬 銭洲

* 水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

* ゴマサバの水揚は中旬に79kgあったので、単価のみ記載した。

[シラス船曳網]

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾が119kg、遠州灘が334kgであった。主要6港平均の1日1か統当りの水揚量は216kgと前年同期(498kg)の43%、平年同期(過去5か年平均:282kg)の76%と前年同期、平年同期を下回った。また、総水揚量は67.7トンで前年同期(157.4トン)の43%、平年同期(163.0トン)の42%と、前年同期、平年同期を下回った。平均単価は905円/kgと平年同期(653円/kg)を上回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量(トン)	延日数	延統数	平均漁獲量(kg/統)	平均単価(円/kg)
新 居	0.6	1	9	64	800
舞 阪	10.9	2	27	403	718
福 田	10.5	2	46	229	742
御前崎	25.1	6	59	426	891
吉 田	11.2	4	93	120	978
静 岡	9.4	4	80	118	1,257
平成24年3月計	67.7		314	216	905
平成23年3月計	157.4		316	498	245
平成22年3月計	14.1		171	82	808

[まき網]

小川港ではマイワシが175.1トンの水揚げで平年同期(104.1トン)の1.7倍であった。沼津港では、マイワシが183.2トンの水揚げで平年同期(73.3トン)の2.5倍であった。カタクチイワシの水揚げはなかった。静岡港では、マイワシが0.35トンの水揚げで平年同期(0.33トン)の1.0倍であった。カタクチイワシの水揚げはなかった(平年同期0.5トン)。伊東港ではマイワシの水揚げはなかった(平年同期も水揚げなし)。

注)平年同期:過去5か年(2007~2011年)平均

[調査船の動向]

駿 河 丸

3月 1日 ~ 3月 2日	地先定線観測調査	(2日間)
3月 5日	ドック回航(三保造船)	(1日間)
3月 30日	海上試運転・回航	(1日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/>

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と
関東・東海海況速報を見ることができます。

